

## 原子力総合シンポジウム 2023

主 催：日本学術会議 総合工学委員会、総合工学委員会原子力安全に関する分科会  
共催・協賛・後援：46 関連学協会

会 期：令和 6 (2024) 年 1 月 22 日 (月) 13:00-17:10

会 場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木 7-22-34）およびオンライン

参加費：無料

開催趣旨：原子力総合シンポジウムは、我が国の原子力について総合的に議論を行う場であり、日本学術会議と関連学協会が協力し、各界の識者を交えて、中長期的視点から議論が行われてきた。今年度は、我が国を取り巻く社会情勢が刻々と変化する中において、革新炉の研究開発を含む今後の原子力の役割と課題について議論する。

### プログラム (案)

開会挨拶 関村直人（日本学術会議連携会員、東京大学教授）

招待講演

テーマ：「社会に貢献する原子力の役割と課題」

司会 森口祐一（日本学術会議第三部会員、国立環境研究所理事）

「日本のエネルギーと次世代革新炉の役割」-----橘川武郎（国際大学学長）

「原子力が本当に活かすべき教訓とは：科学技術の社会学の知見から」

-----寿楽浩太（東京電機大学教授）

「革新軽水炉に求められる特徴」-----山本章夫（名古屋大学教授）

司会 岩城智香子（日本学術会議連携会員、東芝エネルギーシステムズ(株)シニアフェロー）

「原子力と多様性」-----岡田往子（原子力委員）

「事故後 12 年の原子力規制の歩みと残された課題」-山中伸介（原子力規制委員長）

総合討論

コーディネーター 関村直人

パネリスト シンポジウムの各講演者

新堀雄一（日本原子力学会会長）、森口祐一、岩城智香子

閉会挨拶：小山田耕二（日本学術会議連携会員、大阪成蹊大学教授）

問合せ先：一般社団法人日本原子力学会 <http://www.aesj.net/>